

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

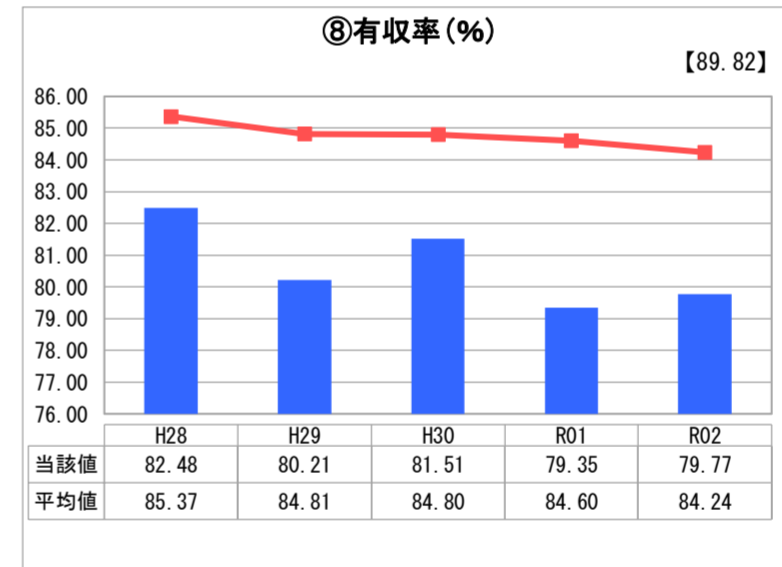
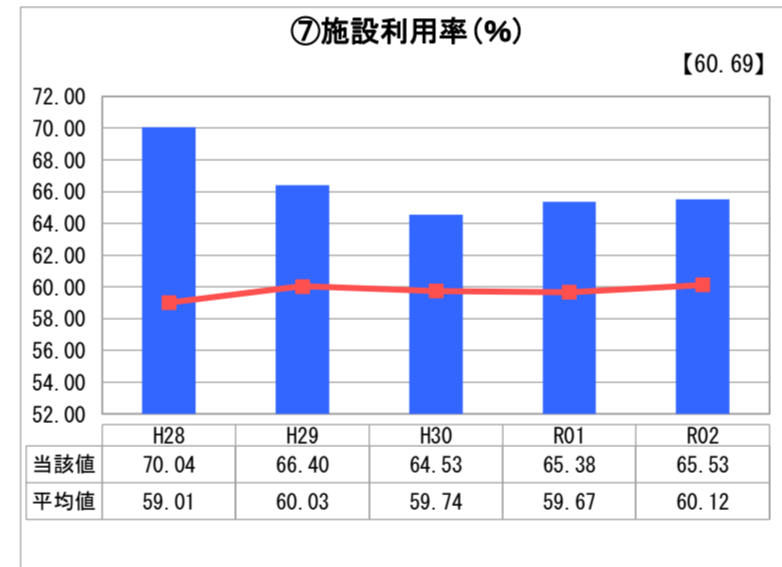
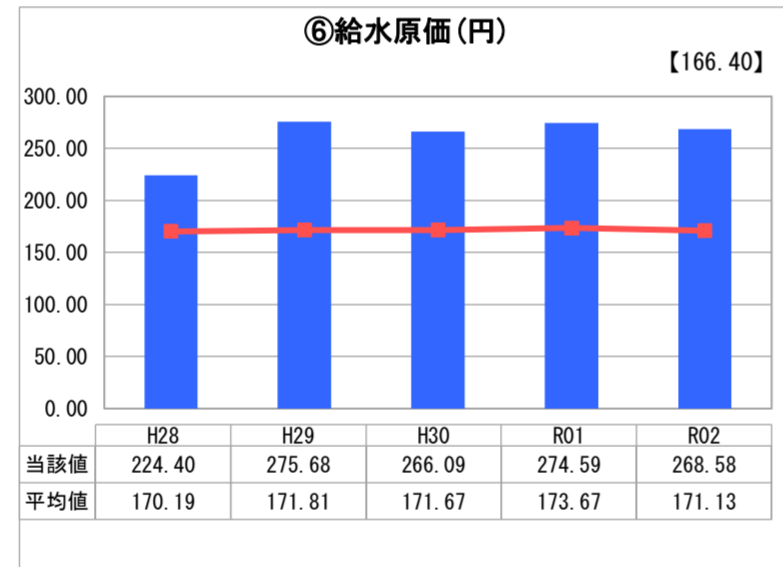
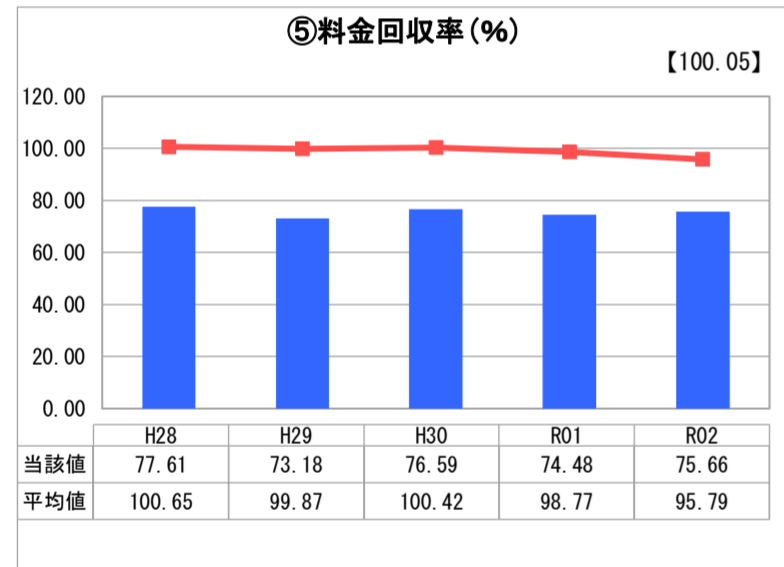
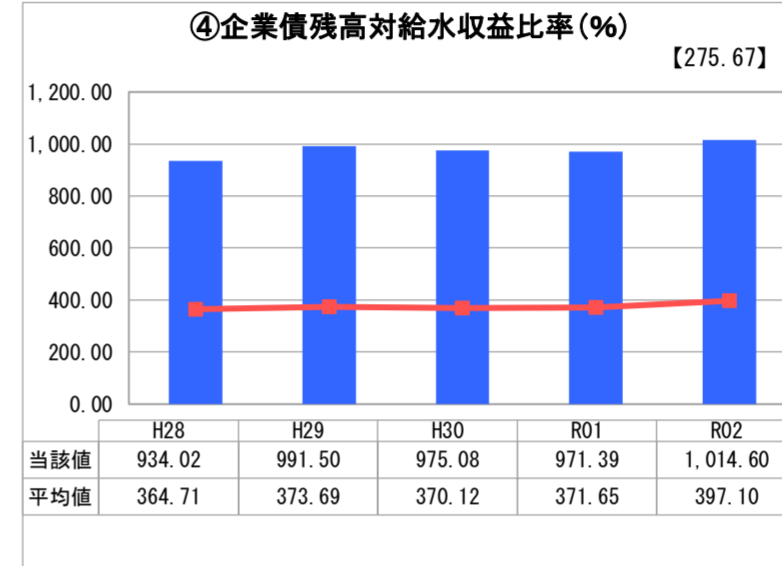
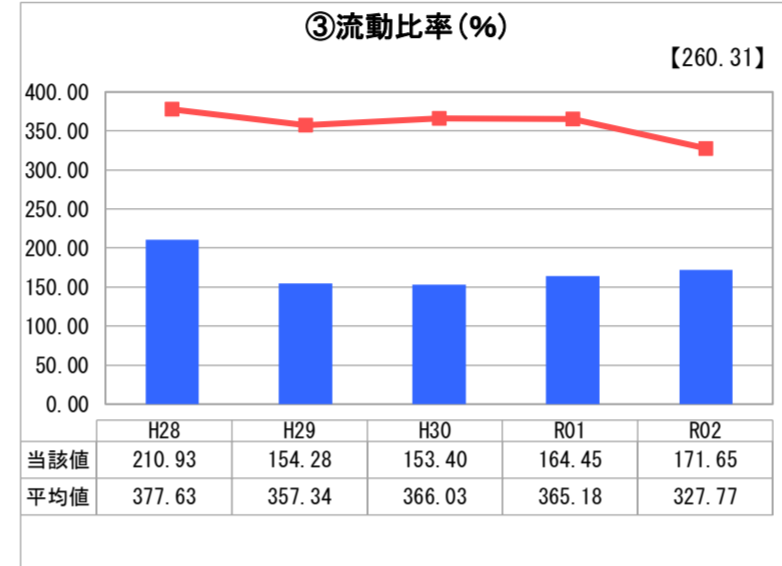
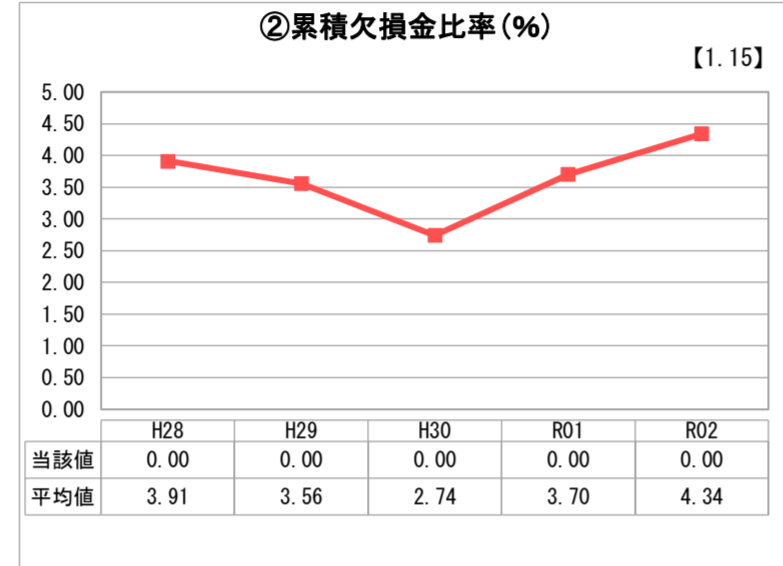
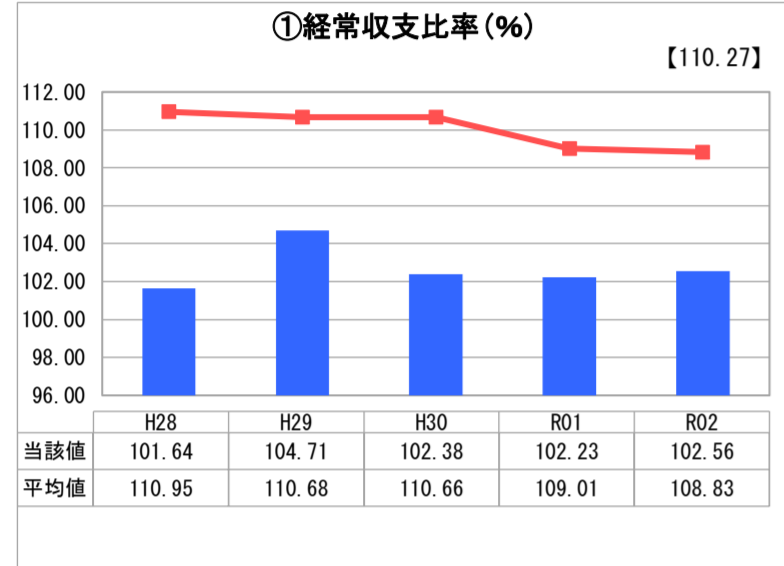
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	60.31	87.62	3,681	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
51,234	778.18	65.84
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,554	117.65	378.70

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

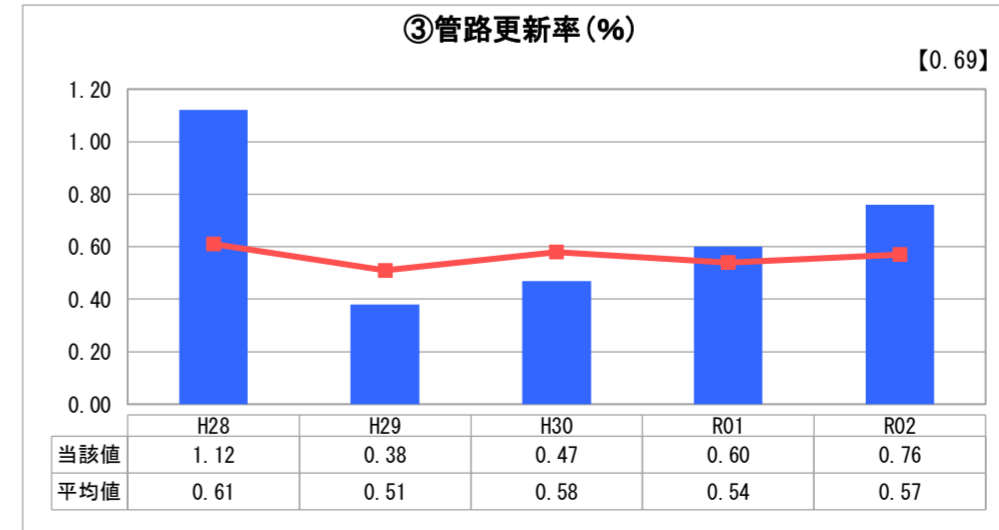
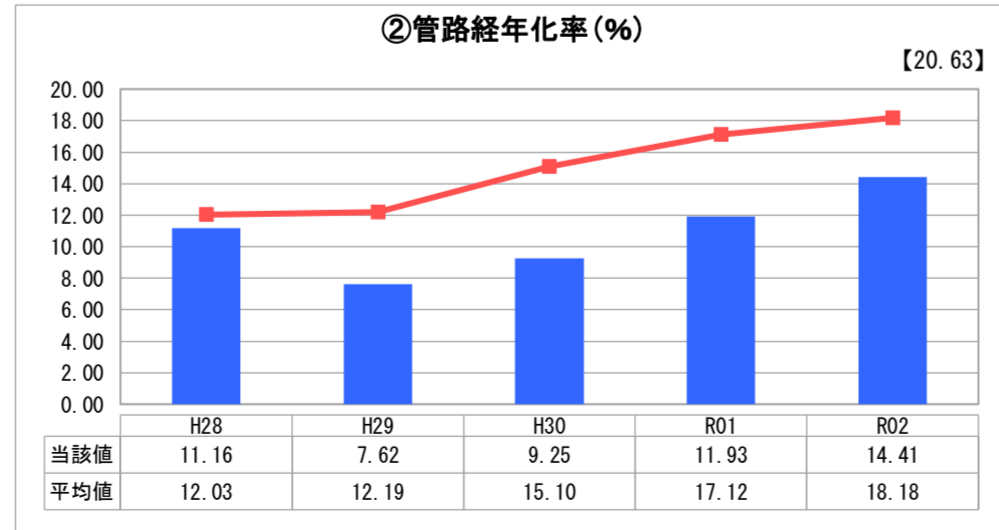
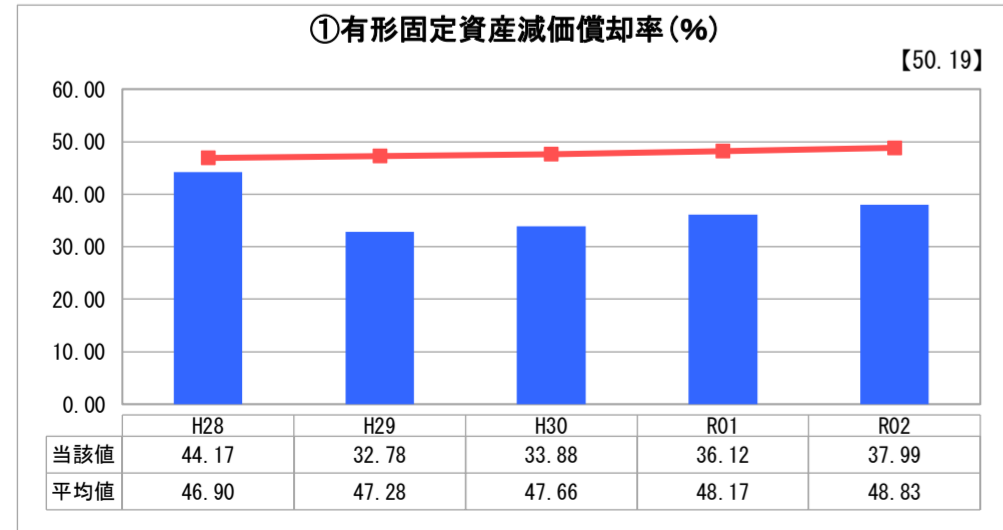
### 1. 経営の健全性・効率性について

① 単年度収支は黒字で経常収支比率も100%以上を維持しているが、やや下降状況にある。料金回収率の改善に向け、料金を検討するとともに、引き続き経費節減に努め、給水収益の増加につながる加入促進活動も取り組んでいく。③ 流動比率は100%を超えており短期的な債務に対する支払能力はある。④ 企業債残高対給水収益比率は、平成29年度に簡易水道事業と統合したことで企業債残高が増加し、全国・類似団体の平均値を上回っているため、投資規模の検討が必要である。⑤ 料金回収率は、簡易水道事業を統合したことで費用負担が増加しているため、施設の統廃合や長寿命化等を行うことで、経費節減に努める必要がある。⑦ ⑧ 施設利用率は全国・類似団体の平均値を上回っているが、有収率は平均値をはるかに下回っており、施設の稼働が収益につながっていないため深刻な問題であると考えている。今後も費用削減に向け、施設統廃合やダウンサイジング等を計画的に実施する。併せて、漏水調査方法の改善や調査範囲の拡大により漏水箇所を特定し、速やかに修繕工事を行う必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は全国・類似団体の平均値を下回っている。② ③ 管路経年化率は、全国・類似団体の平均値を下回っているが、当該年度に更新した管路延長が長く、管路更新率が全国平均を上回っている。今後も、更新時期を迎える管路が増加することが見込まれるため、財源確保に努め、更新計画に基づき、効率的な更新に取り組む必要がある。また、更新にあたっては災害に強い耐久性のある管種を選定する必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

近年の人口減少などにより水需要は減少しており、今後も給水収益の大幅な増加は見込めず、老朽化した施設の増加などにより厳しい経営状況が続くものと推測している。簡易水道事業統合により、施設の維持管理経費等が増加しているため、水道料金の見直しや経営の健全化を更に進めていく必要がある。また、策定した「三次市水道事業ビジョン」に基づき、将来の水道事業の方向性を示すと同時に、長期的な水道事業の政策課題解決に向けた取組を行う必要がある。